

SG海外フィールドワークの選考について

SGH推進課

選考の方法および評価するものについては、募集要項のとおりです。

なお、SGH事業の趣旨に従い、今回の選考では自己PR(生徒の書類・プレゼン)を重視します。書類とプレゼンの評価規準については表のとおりですので、ここから我々が求めるレベルを読み取り、準備を進めてください。

資料から情報を読み取る力も重視しているので、評価規準(資料)に関する質問には一切答えません。応募者ひとりひとりで準備を進めましょう。

この準備だけでも自分の力を高められるはずです。求められたレベルにどう応じるか、筆記試験の点数では計り切れないあなたたちのポテンシャルに期待しています。

○書類について（個人面接日の全体説明終了後に提出を求める）

1年生はSG課題研究Ⅰ、2年生はSG課題研究Ⅱで現在取り組んでいるフィールドワーク計画を説明する。

A3片面で様式は任意であり、様式で加点減点は行わない。

PCで作成した印刷物でも手書きしたものでもよい。イラストを描いても写真を貼付してもかまわない。

○プレゼンテーションについて

本校HP所載の記事より、過去2回のSG海外フィールドワークのプログラムを理解し、力を入れて取り組みたいプログラムを選び、疑問点や質問したいことおよび活動から得たいものについてプレゼンテーションを行う。

制限時間は【3分以内】とし、PCやプロジェクタの使用は認めない。A3以内の紙の持ち込みと使用は認める(枚数不問、キーワードやイラストで紙芝居にしてもよい)。ただし、紙の持ち込みによる加点減点は行わない。

SG海外フィールドワーク選考規準(ルーブリック)

※各欄「+」は「あり」を意味する

	評価項目	A	B	C
c-1 生徒の書類	A [探究可能性]	*FWとテーマの整合+ 仮説を検証するFW+	FWとテーマの整合+ 仮説を検証するFWに なっていない。または「知 ること」が目的となっている。	テーマとの整合なし。 そのテーマでなぜそこ に行くのか、FWの意義が 感じられない。
	B [論理性]	論拠を挙げる+ 情報の分析+	論拠を挙げる+ 単一の情報を鵜呑み。 収集した情報を分析・解 釈していない。	思い込み。 意見や仮説を述べるだけ で根拠がない。
	C [計画性]	FW事前調査+ FW計画の有効性+	FW事前調査+ FW計画とテーマとの関 連が弱い、またはFW計 画が現実的でない。	FW事前調査不足。 書籍やwebサイトで調べ られることを調べていな い。
	D [表現力]	見出しの有効性+ 知的興味を表現する+	見出しの有効性+ この探求のどこがおもしろ いのか、要点が不明ま たは伝わらない。	見出しにまとまりがない。 見出しだけを読んでも全 体を把握できない。
c-2 プレゼン	A [探究可能性]	*当事者意識+ 自発的探求+	当事者意識+ 疑問・質問が、調べれば 解決できるレベルであ る。	当事者意識なし。 自分の探究心を深める 疑問・質問ができていな い。
	B [発展性]	社会or学問との接続+ 上記の発展性+	社会or学問との接続+ 課題解決や持続的発展 への意識が見られない。 または説得力がない。	将来の社会貢献につな げる意識が見られない。 関心が個人内にとどま る。
	C [表現力]	*ポイントファースト+ 対話的発信+	ポイントファースト+ 伝えるばかりで、聴き手 の思考を促す工夫や努 力がない。	主張やトピックを最初に 言わないので、最後まで 聴かないと何の話か分か らない。 言語不明瞭も[C]。
	D [時間]	3分以内+	4分以内+ 規定時間超過につき減 点。	4分を超過。 失格(プレゼン0点)

*FW フィールドワーク

*当事者意識「自分だったらこうする(こう思う)」という意識。

*ポイントファースト

主張や要点を先に述べ、説明を後に述べる手法。主題が先に提示されるので、聴き手が理解しやすい。